

看護職員地域確保支援事業

平成31年度 復職支援研修(手厚くしっかり体験コース)における研修プログラム【〇〇 病院】

コース	1日コース	5日コース	7日コース(看護師)	7日コース(助産師)	
内容	講義をメインとするプログラム	模型を使用した手技演習をメインとするプログラム	病棟における実習をメインとするプログラム	産科外来・病棟における実習をメインとするプログラム	
対象	いずれ再就業したいと考えている方	再就業に向けて少しずつ準備したいと考えている方	すぐにも再就業したいと考えている方	すぐにも再就業したいと考えている方	
研修内容及び指導方法					
1日目	オリエンテーション・交流会・ナースバンク関係書類の記入・病院見学等				
A M	講義：最近の医療・看護の動向・医療安全・感染管理等				
P M	講義：最近の医療・看護の動向・医療安全・感染管理等				
2日目	1 採血 2 輸液・静脈注射 3 筋肉・皮下・皮内注射 <事例を設定し指示に基づく実施> 1) 薬剤処方箋・指示の確認 2) 準備 3) 本人確認 4) 刺入部位の確認 5) 刺入：駆血帯の扱い、刺入角度 6) 針とルートの固定 7) 滴下数合わせ 8) 輸液ポンプの取扱いなど	指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 1) モデル(静脈・採血、筋注用等) 2) 椅子、注射台及びベッド 3) 輸液ポンプ 4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 5) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで 演示 4 所要時間 一名20分から40分。一つの項目全体で2時間程度 5 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 質問をうける、実践指導等	2日目から4日目午前までの7日コース(看護師)の研修内容及び指導方法等は、5日コースと同じです	2日目から4日目午前までの7日コース(助産師)の研修内容及び指導方法等は、5日コースと同じです	
3日目	4 体位変換と移乗 1) 体位変換 上方移動、水平移動、仰臥位一側臥位、 安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動 仰臥位→ストレッチャーなど	1 講義やDVDによる研修 薬剤は実際のものを見せるなど工夫 2 看護観察は講義又はフィジカルアセスメントのDVDなど使用			
4日目	5 薬の知識 与薬方法、薬剤の確認方法や、 インシデントに繋がる事例など 看護観察				
P M	外来、病棟実習 1 病棟オリエンテーション 1) 病棟の構造、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2 援助の実践 1) 環境整備(リネン交換) 2) ハイタルサイン測定 3) 体位変換 4) 移乗、移送 5) 清拭の援助(口腔ケア、清拭など) 6) 食事の援助 7) 排泄の介助 3 カンファレンス参加	指導体制・方法 原則として、1名の研修生に1名の指導者を配置 1 病棟師長もしくは研修担当がオリエンテーション実施 2 指導看護師に付いて一緒に援助を行う。 * 援助の際は、必ず患者様に了承を得る。 * 援助は病院所属の看護師の指導のもとで行なう	○講義 「主な疾患と看護」 切迫早産・前期破水・ 母体高血圧症候群・弛緩出血など	外来及び病棟実習・講義 1 オリエンテーション 1) 構造・連携等 2) スタッフ紹介 3) 妊婦健診の流れについて 4) 保健指導 5) 主な疾患と看護 6) 褥婦ケア 乳房ケア、各指導 7) 新生児ケア 出生時、入院時、退院時 8) 分娩時ケア 分娩監視装置の装着と判読、 第1期から第4期までの看護 9) カンファレンス参加	指導体制・方法 原則として、1名の研修生に1名の指導者を配置 1 助産師に付いて一緒に援助または、見学を行う。 2 分娩があれば適宜見学
5日目	交流会 再就業支援相談				
6日目			7日目AMまで病棟実習を継続して行う		
7日目					
A M					
P M					
				* 援助の際は必ず患者様に了承を得る。 * 援助は病院所属の看護師の指導のもとで行なう	